

一般質問

質問 奥州市の農畜産物を統一ブランドとして認定し、13万市民に本当の味や魅力を知ってもらい、さらにPRや販売促進に参加してもらうために、生産者、農協、行政、卸業者、販売店、飲食店、加工業者、地域づくりのリーダー、主婦等消費者による「戦略会議」を組織し、市農業、食品産業の活性化と市民生活を豊かにする方策を構築するべきと思いますが考え



牛肉の魅力知っていますか。(牛の博物館)



えんどう 遠藤

さとし 敏

○農畜産ブランドを活用した市の活性化
○学校統合について

市長 敷地活用、校舎を含めての活用を個々具体的に示しながら地域にはかり、窓口は総合政策部に一本化します。

質問 空校舎の活用は早めに方向性を示すべきと考えますが伺います。

教育委員長 すでに建設、学校管理経営検討委員会を立ち上げ、スクールバス・スクールゾーン検討委員会も大急ぎで立ち上げたいと考えております。人選も固まっております。遅くとも10月はじめに立ち上げ、校名・校章・校歌、伝統文化保存委員会も開催し、教職員との協議も位置づけます。

市長 今の提案を受けて、担当部で地産地消、農工商連携の原案をつくり各農協、商工会、商工会議所に相談をはじめたいと思います。
質問 統合前沢小学校が実施設計の段階に入っていますが、具体的検討を進めるための5検討委員会の状況、設置が遅れている委員会の設置も急ぐべきと思いますが考え方について伺います。

市長 「寿庵の事業」によって、1万ヘクタールといわれる胆沢平野の耕地が、今、稔りの時期を迎えようとしています。これは「先人の事業」の努力の賜物と思っており、南自治振興会が「寿庵福原就封400年祭」を計画していることは、地域づくり、まちづくりともつながり、積極的に支援する方向で考えております。

質問 後藤寿庵は「胆沢平野の開拓の祖」であります。今から400年前に荒涼とした胆沢平野の大地に「用水路」の建設にとりかかり、今日の豊かな田園風景の礎をつくりました。寿庵の偉業に対して、地域の人たちは感謝と尊敬の念を持ち続けてきましたが、このたび水沢南自治振興会が「400年祭」の準備を進めております。市の「先人の記念事業」として、市及び教育委員会が協力や支援等の連携ができるか伺います。



ちば 千葉

ごろう 悟郎

○後藤寿庵400年祭について
○水沢公園の整備とマナーについて

市長 公道沿いの「街路樹」は、景観として心を和ませてくれるものと思っておりますが、市内の「街路樹」が2万6000本以上あり、経費節減ということで2年分の剪定になっております。今後、剪定の仕方等については、地域の方々の協力が得られるかどうか検討します。また、「あずまや」については公園の安全や地域住民の安心のために、早急に対応します。

質問 各地の駐車場に「障がい者・高齢者用の駐車場」があり、その気配りに優しさを感じております。ところが、その駐車場に、健康者の運転する車が駐車することが多く、非常に残念でさびしくなります。奥州市民のマナーを向上させる方策について伺います。

市長 公の施設での駐車場では、マナーの呼びかけはできやすいと思いますが、民間の駐車場については、それぞれの関連施設や団体